

(様式3)

事業所名 グループホームおおやちの家

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 2 月 7 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	7	○虐待の防止の徹底 「虐待」とは、「身体拘束」といった基本的な知識について繰り返し研修を行う事で、全職員が虐待防止について正しい理解をえられるのではないだろうか。高齢者虐待防止関連法等について定期的な研修の機会をもつことが望まれる。	「高齢者虐待」、「身体拘束」についての知識を深める。	①ユニット会議にて、不適切なケアを行っていないか？についてを話し合い、支援を振り返る。 ②リーダー自身もこれらに対し高い意識をもって取り組んでいるのか主任会議を通じて振り返る。	3か月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 事業所で最期を看取ることの意味や目的について職員間で意識統一を図る事が望まれる。これまでの終末期支援を職員全員で振り返り、職員が支援する上で感じた不安や迷い、利用者や家族の思いを共有し、チームで終末期支援ができるように、定期的な研修の機会を作ることを期待したい。	経験してきた終末期支援を振りかえる。	①今まで経験してきた利用者様の終末期支援に関する記録や資料をまとめ、全体で振り返る。 ②「看取りの同意書」を取り交している利用者様も現在おられるため、それにむけた支援を統一する。 ③終末期ケアの外部の研修に参加し、研修報告にて全体で共有する。	3か月
3	7	○チームで作る介護計画とモニタリング チームで作る介護計画作成の為の方針を、今一度全体で話し合い確認しあってはどうか。介護計画作成の一連のプロセスをこなすだけでなく、チームに関わり、入居前の情報だけにこだわらずに今の事業所での生活にも視点を置いて、今その人が望んでいる暮らしの実現に向けた計画書が作成されることを期待したい。	介護計画はチームで作成し、おおやちの家での生活の中で、より良い「今」を提供する。	①ケアプランの長期、短期目標をもっと具体的にする。 ②利用者様の担当職員がモニタリングを行う。 ③ユニットごとに職員でケアプランを回覧しているが、支援内容を振り返ることに目がいきやすい。ケアプランの作成に関する流れや長期、短期目標の大切さを職員に説明する。 ④現在の状況を含めた利用者様の顔となる「フェイスシート」の見直し。	6か月

(様式3)

事業所名 グループホームおおやちの家

## 目標達成計画

作成日: 平成 29年 2月 7日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
4	34	○急変や事故発生時の備え 事故発生時の対応策は検討しているが、発生時の初期対応の研修が不十分である。 職員が不安に感じている事を聞き、シミュレーション形式で研修会を行うなど、定期的に事故発生時に備えた訓練を実施することが望まれる。	実践で活かせる訓練の実施	①全職員に「急変時における初期対応への不安」についてのアンケートを行い、アンケートの結果を参考に、訓練を実施する。 ②救急隊員や消防士の方などから実践的な訓練ができるよう講師を依頼する。	12か月
5	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 意見をいう事をためらう利用者や家族の心情を察して、言いやすい雰囲気作りと引き出せる機会をより多く持つ事が望まれる。今後はさらに、寄せられた意見等を前向きに活用する仕組み作りと、サービスの質の向上を図る為に、他の家族や外部の人にも伝えられる取組みに期待したい。	ご利用者様、ご家族の心情を察することができるよう信頼関係を深め、普段の生活を積極的に報告する中から思いを寄せられるような会話の技術をもつ。	①担当者会議やケアプランの説明、普段の来訪時など、「ご家族からみてどう感じますか?」と、具体的に話易い問いかけ方で気持ちを引き出してもらえるようにする。 ②6ヵ月ごとの担当者会議の定期開催。	12か月